

# 防衛省・自衛隊 70周年記念観閲式

令和6年度自衛隊記念日記念行事における防衛省・自衛隊70周年記念観閲式が、令和6年11月9日（土）、朝霞訓練場で実施されました。

石破茂首相は訓示で、中国及びロシアによる領空侵犯について、「全く受け入れることはできない」と強く非難し、日米同盟については、「日本外交・安全保障の基軸であり、今後とも、日米同盟の更なる強化に共に取り組んでまいりたい」と述べました。また、「スタンド・オフ防衛能力を始めとする将来の中核となる能力の強化、可動数向上や弾薬・燃料の確保といった継戦能力の確保、統合作戦司令部の創設による統合運用の実効性強化と日米それぞれの指揮・統制枠組みの向上。これらの取組を、国家安全保障戦略等に基づき、着実に実現」し、また「生活・勤務環境や待遇の改善等について関係閣僚会議を設置し、具体化する」との考えを示しました。最後に、自衛隊員の服務の宣誓を読み上げ「今日この機会に諸官に改めて問い合わせたい」と呼びかけました。

観閲式は無観客で行われ、観閲部隊約800名、車両約50両のほか、F35A、F2、F15などが参加しました。観閲式終了後、石破首相は東部方面総監部庁舎で中谷防衛相らと昼食。その後、隊員食堂で昼食会に出席して、あいさつをし、朝霞駐屯地をあとにしました。

（写真：首相官邸HP、【ライブ配信】防衛省・自衛隊70周年記念観閲式）



栄誉礼を受ける石破首相



整然と並ぶ観閲部隊



巡閱する石破首相



普通科部隊の観閲行進



10TKの観閲行進



初展示された車両搭載型高出力レーザ装置